

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組方針 取組一覧

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)				羽越河川国道				新潟県				新潟地方気象台				村上市				関川村				胎内市					
項目	事項	内容	課題の対応	取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)			
				実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況		
①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組																													
■情報伝達、避難計画等に関する事項																													
		①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信の実施継続(水位、気象情報、カメラ映像、ホットラインなど)	G,H,I,J	「川の防災情報システム」によるスマートフォンを活用した情報発信、プッシュ型の洪水予報等の情報発信を継続実施	引き続き実施	平成29年5月22日よりプッシュ型の洪水予報等の情報発信を開始し、継続実施中	実施を継続	・県民が自主的に避難行動をとれるように効果的な情報提供手法を検討	引き続き実施	令和2年7月より新潟県河川防災情報システムにカメラ画像を公開し、継続実施中	実施を継続	・各種情報提供の継続 ・地域支援チームにより、提供資料の利活用を促進	引き続き実施	・気象情報、注意報を発表し、現象ごとに警戒期間、注意期間、ピーク時間帯、雨量などの予想最大値を通知 ・気象状況に応じ、自治体に資料提供、情報伝	実施を継続	防災メール等について、更なる普及のため周知・広報を実施する。(継続)	引き続き実施	HP 広報誌等で周知・広報を行っている。	実施を継続	緊急連絡メール等について、更なる普及のため周知・広報を実施する。(継続)	引き続き実施	広報誌による防災メール登録の促進(通年)	実施を継続	緊急連絡メール等について、更なる普及のため周知・広報を実施する。(継続)	引き続き実施	3,432名の市民が防犯防災メール登録。(登録率約12%)	継続		
		②避難指示等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の検証と改善	C	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など(継続)	引き続き実施	国管理区間のタイムラインは策定済み、今後は検証と改善を行う	実施を継続	・タイムラインを策定していない河川において、関係機関が連携し流域雨量指数を用いた水害危険性の周知に関する取組を実施	引き続き実施	「避難情報に関するガイドライン」及び関川村地域防災計画との整合を図るため、水害対応タイムラインを修正	実施を継続	北陸地整、県・市・村と共同し、整備・改善を支援(継続)	引き続き実施	・市町村訪問により、R3.5策定の避難情報に関するガイドラインに沿った避難判断基準の解説、あわせて、台長による首長訪問を実施し、市町村との連携強化を	実施を継続	・出水後におけるタイムラインの検証と改善(継続)	引き続き実施	防災訓練及び出前講座で検証と改善を行っている。	実施を継続	・出水後におけるタイムラインの検証と改善(継続)	引き続き実施	7月、鹿ノ黒水位観測所地点におけるタイムラインを南と連携して作成(更新)した水位観測所地点のタイムラインは未更新	実施を継続	・出水後におけるタイムラインの検証と改善	引き続き実施	未実施	継続		
		③想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等浸水想定区域の公表	D,E,F				想定浸水区域内戸数が200戸以上の河川では、浸水想定区域図を順次策定していく	順次実施	荒川(H30年6月告示)乙大日川・烏川・堀川・大石川(R3年12月告示)	実施を継続																			
		④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	D,E,F,K				・想定浸水区域内戸数が200戸以上の河川で、浸水想定区域図及び家屋倒壊危険区域図を順次策定していく	順次実施	荒川(H30年6月告示)乙大日川・烏川・堀川・大石川(R3年12月告示)	実施を継続																			
		⑤参加市・村による広域避難計画の策定及び支援	D,E	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援(継続)	引き続き実施	令和2年1月27日に浸水想定区域図を公示・公表	実施を継続	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・市町村の調査や運営上の課題への支援(継続)	引き続き実施	平成30年6月29日及び令和3年12月24日に浸水想定区域図を公示	実施を継続	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援(継続)	引き続き実施	[R3]支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施。	実施を継続	・北陸地整、県、関係市町村と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難の現実性について検討する。(継続)	引き続き実施	浸水想定区域図をもとに広域避難計画を策定し、防災訓練及び出前講座で周知、検討を行っている。	実施を継続	・浸水想定区域図等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。(継続)	順次実施	10月、想定最大規模降雨による災害(洪水・土砂災害)シミュレーションを検討	実施を継続	・浸水想定区域図等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。(継続)	順次実施	未実施	継続		
		⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの周知・活用促進	D,E,F	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進(継続)	引き続き実施	浸水想定区域図のパンフレットを一部見直し。(避難勧告の廃止等)	実施を継続																						
		⑦水位予測の検討及び精度の向上	B				流域雨量指数(洪水予報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討	引き続き実施	減災対策協議会にて情報共有	実施を継続																			
		⑧「危険度の色分け表示」や「警戒線の可能性」、「危険度分布」等による気象情報発信	J																										
		⑨流域雨量指数(洪水予報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討	B				流域雨量指数(洪水予報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討	引き続き実施	減災対策協議会にて情報共有	実施を継続																			
		⑩円滑な避難活動や水防活動を支えるため、簡易水位計(危機管理型水位計含む)等による適切な観測や維持管理の継続	L,J	・簡易水位計、河川監視カメラによる観測及び維持管理を実施	引き続き実施	観測及び維持管理を実施中	実施を継続	・簡易水位計、河川監視カメラによる観測及び維持管理を実施	引き続き実施	観測及び維持管理を実施中	実施を継続																		
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																													
		①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所共同点検の実施	A	・重要水防箇所等の共同点検を実施(継続)	引き続き実施	[R3.6.13]荒川合同巡回視察を実施。	実施を継続	・出水期前に自治会や地域住民と重要水防所共同点検を実施(継続)	引き続き実施	[R3.6.13]荒川合同巡回に参加。	実施を継続																		
		②小中学校等における水災害教育の実施	A	・市村の要請により、出前講座等を積極的に実施(継続)	引き続き実施	[R3]3校で出前講座を実施。	実施を継続	・新潟県防災教育プログラム(洪水災害)を作成済み。 ・市村の要請により、出前講座等を積極的に実施(継続)	引き続き実施	[R3.10.24]新潟県立村上中等教育学校で「親子マイタイムライン教室」を開催。	実施を継続																		
		③出前講座等を活用し、水防等に関する説明会を開催	A	・市村の要請により、出前講座等を積極的に実施(継続)	引き続き実施	[R3]市村より出前講座の要請はなかった。	実施を継続	・市村の要請により、出前講座等を積極的に実施(継続)	引き続き実施	[R3]市村より出前講座の要請はなかった。	実施を継続																		
		④まるごとまちごとハザードマップを整備	D,F,I	・市村が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供(継続)	引き続き実施	(実績なし)	実施を継続	・想定浸水区域内戸数が200戸以上の河川では、浸水想定区域図を順次策定していく(継続)	引き続き実施	荒川(H30年6月告示)乙大日川・烏川・堀川・大石川(R3年12月告示)	実施を継続																		
		⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ情報を作成・配布	H	「水防災意識社会」の再構築に役立つ情報や資料を作成・配布(継続)	引き続き実施	事務所WEB Siteに減災対策協議会の取組について掲載	実施を継続	・住民自らの判断で避難行動をとることができるように理解しやすい情報を提供	引き続き実施	一般住民向けに洪水時の避難に役立つ情報を新潟県のWebサイトに掲載	実施を継続																		
		⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	K																										

「水防災意識社会再構築ビジョン」

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)				荒川水力電気				赤芝水力発電				東北電力			
項目	事項	内容	課題の対応	取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)	
				実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
①「安全な場所への確実な避難」に向けた、															
■情報伝達、避難計画等に関する事項															
		①リアルタイムの情報提供やフッシュ型情報の発信の実施継続(水位、気象情報、カメラ映像、ホットラインなど)	G,H I,J	ダム放流にサイレンス・ピーカー等による周知を実施する。(継続)	引き続き実施	ダム放流にサイレンス・ピーカー等による周知を実施する。(継続)	引き続き実施	ダム放流にサイレンス・ピーカー等による周知を実施する。(継続)	引き続き実施	ダム放流にサイレンス・ピーカー等による周知を実施している。	引き続き実施	ダム放流にサイレンス・ピーカー等による周知を実施する。(継続)	引き続き実施	ダム放流にサイレンス・ピーカー等による周知を実施している。	引き続き実施
		②避難指示等の発令に際した防災行動計画(タイムライン)の検証と改善	C												
		③想定最大規模も含めた破損点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	D,E F												
		④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	D,E F,K												
		⑤参加市・村による広域避難計画の策定及び支援	D,E												
		⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの周知・活用促進	D,E F												
		⑦水位予測の検討及び精度の向上	B	データの情報提供(継続)	引き続き実施	検討中(2022年度予定)	引き続き実施	データの情報提供(継続)	引き続き実施	[R4.1現在]検討中	引き続き検討	鹿の基ダムデータの情報提供(毎正時)(継続)	引き続き実施	鹿の基ダムデータを毎正時情報提供している。	引き続き実施
		⑧「危険度の色分け表示」や「避難線の可能性」、「危険度分布」等による気象情報発信	J												
		⑨流域雨量指数(洪水予報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討	B												
		⑩円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計(危機管理型水位計含む)等による適切な観測や維持管理の継続	L,J												
■平時から住民等への周知・教育・訓練															
		①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所共通点検の実施	A												
		②小中学校等における水災害教育を実施	A												
		③出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A												
		④まるごとまちごとハザードマップを整備	D,F I												
		⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布(継続)	引き続き実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布(継続)	引き続き実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布(継続)	引き続き実施	[R3.7.1]ダム放流における水難防止に向け、関川村広報紙への掲載。	引き続き実施	関川村広報紙の掲載、水難防止チラシの配布により注意喚起を実施(継続)	引き続き実施	[R3.7.14]水難防止のチラシおよびポスター配布。 [R3.7.15]ダム放流における水難防止を図るため、関川村広報紙へ掲載。	引き続き実施
		⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	K												

減災のための取組項目(案案) (令和8年度)				羽越河川圏道				新潟県				新潟地方気象台				村上市				関川村				胎内市							
項目	事項	内容	課題の対応	取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)					
				実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況				
②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組																															
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																															
	①	水防団等への連絡体制の確立と普及も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	M	・水防連絡会にて連絡体制の確立を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続)	引き続き実施	[R3.4.20]直轄管理区間の洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施。	実施を継続	・水防連絡会にて連絡体制の確立を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続)	引き続き実施	[R3.4.20]直轄管理区間の洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加	実施を継続	・情報伝達訓練への支援(継続)	引き続き実施	[R3.4.20]洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	実施を継続	・水防連絡会にて連絡体制の確立を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続)	引き続き実施	情報伝達訓練へ参加	実施を継続	・水防連絡会にて連絡体制の確立を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練に参加	実施を継続	・水防連絡会にて連絡体制の確立を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続)	引き続き実施	水防連絡会にて連絡体制の確立	実施を継続	・水防連絡会にて連絡体制の確立を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続)	引き続き実施	水防連絡会にて連絡体制の確立	実施を継続		
	②	自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所合同巡視の実施	U.L.M	・重要水防箇所等の合同巡視を実施(継続)	引き続き実施	[R3.6.13]荒川合同巡視を実施。	実施を継続	・重要水防箇所等の合同巡視を実施(継続)	引き続き実施	[R3.6.13]荒川合同巡視に参加	実施を継続					・重要水防箇所等の合同巡視を実施(継続)	引き続き実施	[R3.6.13]荒川合同巡視を実施	実施を継続	・重要水防箇所等の合同巡視に参加	実施を継続	・重要水防箇所等の合同巡視を実施(継続)	引き続き実施	合同巡視への参加	実施を継続	・重要水防箇所等の合同巡視に参加	実施を継続	・重要水防箇所等の合同巡視を実施(継続)	引き続き実施		
	③	県北地域が一丸となり、毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	O.P	・水防管理団体が行う訓練への参加(継続)	引き続き実施	[R3.6.13]荒川水防訓練を実施。	実施を継続	・水防管理団体が行う訓練への参加(継続)	引き続き実施	[R3.6.13]荒川水防訓練に参加	実施を継続	・関係機関等の要請により、訓練への支援(継続)	引き続き実施	[R3]参加要請実績はなかったが、今後も要請に応じて実施。	実施を継続	・水防管理団体が行う訓練への参加(継続)	引き続き実施	[R3.6.13]荒川水防訓練を実施	実施を継続	・水防管理団体が行う訓練への参加(継続)	引き続き実施	6月、水防訓練(村上市、胎内市、関川村)に参加	実施を継続	・水防管理団体が行う訓練への参加(継続)	引き続き実施	水防管理団体が行う訓練への参加	実施を継続	・水防管理団体が行う訓練への参加(継続)	引き続き実施		
	④	水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	N.P																												
	⑤	大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	Q	・復旧活動の拠点等配置計画を検討(継続)	順次実施	検討中	実施を継続	・復旧活動の拠点等配置計画を検討(継続)	順次実施	検討中	実施を継続																				
	⑥	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	O.O	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 ・新技術(水のう等)を活用した資機材等の検討・配備(継続)	引き続き実施	[R3.6.13]荒川合同巡視を実施。	実施を継続	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施(継続)	引き続き実施	[R3.6.13]荒川合同巡視に参加	実施を継続					・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施(継続)	引き続き実施	[R3.6.13]荒川合同巡視を実施	実施を継続	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施(継続)	引き続き実施	合同巡視への参加	実施を継続	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施(継続)	引き続き実施	水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	実施を継続	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施(継続)	引き続き実施	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施(継続)	引き続き実施
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																															
	①	要配慮者等の迅速な避難に向けた取組の充実(避難確保計画の作成支援、地域包括支援センターへのハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット設置等)	K	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的助言を行う(継続)	引き続き実施	要配慮者利用施設からの助言要請等がなかった	実施を継続	・要配慮者利用施設における避難確保計画の推進を行う(継続)	引き続き実施						・要配慮者施設における避難確保計画の推進を行う(継続)	順次実施	要配慮者施設における避難確保計画の推進(地域包括支援センターへのハザードマップへの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進する)	実施を継続	・要配慮者施設における避難確保計画の推進(地域包括支援センターへのハザードマップへの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進する)	順次実施	要配慮者施設における避難確保計画の推進(地域包括支援センターへのハザードマップへの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進する)	順次実施	要配慮者施設における避難確保計画の推進(地域包括支援センターへのハザードマップへの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進する)	順次実施	要配慮者施設における避難確保計画の推進(地域包括支援センターへのハザードマップへの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進する)	順次実施	要配慮者施設における避難確保計画の推進(地域包括支援センターへのハザードマップへの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進する)	順次実施	要配慮者施設における避難確保計画の推進(地域包括支援センターへのハザードマップへの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進する)	順次実施	
③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化																															
■教養・救済活動の効率化に関する取組																															
	①	大規模災害時の救済・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	E.S	・広域支援拠点等の検討支援(継続)	順次実施	・R3年度に大規模水害を想定した荒川排水計画(案)策定	実施を継続	・広域支援拠点等の検討支援(継続)	順次実施	検討中	実施を継続				・広域支援拠点等の配置等を検討(継続)	順次実施	荒川排水計画をもとに検討している	実施を継続	・広域支援拠点等の配置等を検討(継続)	順次実施	検討中【今年度実績なし】	実施を継続	・広域支援拠点等の配置等を検討(継続)	順次実施	検討中【今年度実績なし】	実施を継続	・広域支援拠点等の配置等を検討(継続)	順次実施	検討中【今年度実績なし】	実施を継続	
■排水訓練の実施等																															
	①	排水ポンプ車の出動要請の連絡訓練の実施	R	・毎年、出水前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。(継続)	引き続き実施	・洪水対応演習(情報伝達訓練)の中で情報共有	実施を継続	・連絡体制の確認(継続)	引き続き実施	排水ポンプ車想定箇所及び連絡体制を確認	実施を継続				・連絡体制の確認(継続)	引き続き実施	・洪水対応演習(情報伝達訓練)の中で情報共有	実施を継続	・連絡体制の確認(継続)	引き続き実施	連絡体制の確認継続中【今年度訓練実績なし】	実施を継続	・連絡体制の確認(継続)	引き続き実施	連絡体制の確認継続中【今年度訓練実績なし】	実施を継続	・連絡体制の確認(継続)	引き続き実施	連絡体制の確認継続中【今年度訓練実績なし】	実施を継続	
	②	関係機関が連携した排水実働訓練の実施	S	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加(継続)	引き続き実施	・水防訓練にポンプ車を派遣	実施を継続	・排水ポンプ車の実働訓練を実施(継続)	引き続き実施	排水ポンプ車の実働訓練の実施を検討	実施を継続				・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討(継続)	引き続き実施	河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討	実施を継続	・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討(継続)	引き続き実施	【今年度訓練実績なし】	実施を継続	・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討(継続)	引き続き実施	【今年度訓練実績なし】	実施を継続	・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討(継続)	引き続き実施	【今年度訓練実績なし】	実施を継続	

減災のための取組項目(素案) (令和5年度)				荒川水力電気				赤芝水力発電				東北電力			
項目	事項	内容	難関の対応	取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)		取組方針(R3.5策定)		取組状況(実績)	
				実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間															
■水防活動の効率化及び水防体制の															
		①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実証的な情報伝達訓練の実施	M	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続)	引き続き実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続)	引き続き実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続)	引き続き実施	【R3.4.20】洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続)	引き続き実施	【R3.4.20】洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き実施
		②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の高圧監視の実施	U.L.M												
		③県北地域が一丸となり、毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	O.P	・水防管理団体が行う訓練への参加(継続)	引き続き実施	・水防管理団体が行う訓練への参加(継続)	引き続き実施	・水防管理団体が行う訓練への参加(継続)	引き続き実施	【R3.6.13】荒川水防訓練を実施	引き続き毎年実施	・水防管理団体が行う訓練への参加(継続)	引き続き実施	【R3.6.13】荒川水防訓練に参加	引き続き実施
		④水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	N.P												
		⑤大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	Q												
		⑥新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	O.Q												
■要配慮者利用施設や大規模工場等															
		①要配慮者等の迅速な避難に向けた取組の充実(避難確保計画の作成支援、地域包括支援センターへのハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット設置等)	K												
③社会経済活動を取り戻すための排水活動															
■救護・救助活動の効率化に関する取															
		①大規模災害時の救護・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	E.S												
■排水訓練の実施等															
		①排水ポンプ車の出動要請の連絡訓練の実施	R												
		②関係機関が連携した排水実働訓練の実施	S												

# 減災目標を達成するための取組状況概要

資料2

番号	内 容	実施主体
①	洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	羽越河川国道事務所、新潟県、 村上市、関川村、胎内市
②	小中学校等における水災害教育を実施	羽越河川国道事務所
③	実践的な情報伝達訓練の実施	羽越河川国道事務所
④	関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	羽越河川国道事務所、新潟県、 村上市、関川村、胎内市
⑤	避難指示等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の検証と改善	新潟県村上地域振興局地域整備部
⑥	想定最大規模降雨に対する洪水浸水想定区域図の作成・公表	新潟県村上地域振興局地域整備部
⑦	出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	新潟県村上地域振興局地域整備部
⑧	最大危険度予測(土砂災害・浸水害・洪水)を用いた警戒呼びかけ	新潟地方気象台
⑨	キキクル(危険度分布)の改善:警戒レベル4相当の紫への一本化、警戒レベル5相当の黒の新設	新潟地方気象台
⑩	集落のニーズ、要望に応じて行う出前講座	関川村総務政策課【防災】
⑪	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	荒川水力電気(株)
⑫	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	赤芝水力発電(株)
⑬	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	東北電力(株)

取組項目	洪水に対するリスクの高い箇所への合同巡視の実施
内容	【R3.6.13】荒川合同巡視を実施。
実施主体	北陸地方整備局羽越河川国道事務所、新潟県村上地域振興局地域整備部 村上市、関川村、胎内市

羽越河川国道事務所、新潟県、村上市、関川村、胎内市と合同で荒川(国管理区間)の重要水防箇所と水防倉庫の合同巡視を行うとともに、荒川(国管理区間)の重要水防箇所の情報共有を行いました。

【実施概要】

- ・日時：令和3年6月13日 11:00～12:00
- ・参加者：羽越河川国道事務所、新潟県、村上市、村上市消防団、関川村、関川村消防団、胎内市
- ・内容：① 重要水防箇所の確認(荒川を3班に分けて実施)  
② 水防倉庫の資材確認・点検を実施



水防倉庫、重要水防箇所の点検状況(R3.6.13)

取組項目	小中学校等における水災害教育を実施
内容	市村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。
実施主体	北陸地方整備局羽越河川国道事務所

羽越河川国道事務所では小中学校からの要請により、出前講座を実施した。

【実施概要】

- ・実施回数：令和3年度は3校延べ4回実施
- ・参加者：羽越河川国道事務所、保内小学校、平林小学校、金屋小学校
- ・内容：荒川の概要と水害について

実施日	学校名
R3.6.17	保内小学校
R3.6.28	平林小学校
R3.7.6	金屋小学校(4年生)
R3.7.16	金屋小学校(1～3年生)



保内小学校



金屋小学校



令和3年7月11日 サンデーいわふね



平林小学校



金屋小学校

取組項目	実践的な情報伝達訓練の実施
内容	【R3.4.20】洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施
実施主体	北陸地方整備局羽越河川国道事務所、新潟県村上地域振興局地域整備部 村上市、関川村、胎内市、東北電力、荒川水力電気、赤芝水力発電

洪水時の防災体制を確認することを目的に、水防連絡会構成機関と合同で各種情報伝達や被災時の災害復旧までの流れ等について、実践的な演習を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：令和3年4月20日 9:00～17:00
- ・参加者：羽越河川国道事務所、新潟県、村上市、村上市消防団、関川村、関川村消防団、胎内市
- ・内 容：① 市町村等へ水防警報、洪水予報等の情報伝達、大石ダム・横川ダムの操作確認、情報伝達  
② 被災時の災害復旧までの流れ等の確認



洪水対応習の実施状況

令和3年4月25日サンデーいわふな

取組項目	関係機関が連携した水防実働訓練等を実施
内容	【R3.6.13】荒川水防訓練を実施。
実施主体	北陸地方整備局羽越河川国道事務所、新潟県村上地域振興局地域整備部 村上市、関川村、胎内市

羽越河川国道事務所、新潟県、村上市、関川村、胎内市と合同で荒川(国管理区間)の重要水防箇所と水防倉庫の合同巡視を行うとともに、荒川(国管理区間)の重要水防箇所の情報共有を実施

【実施概要】

- ・日 時：令和3年6月13日 9:30～10:40
- ・参加者：羽越河川国道事務所、新潟県、村上市、村上市消防団、関川村、関川村消防団、胎内市、胎内市消防団等 約350人
- ・内 容：水防工法(土のう積み工、シート張り工、木流し工、月の輪工)、大型土のう積み、ブロック投入工の実施訓練



荒川水防訓練実施状況(R3.6.13)

令和3年6月20日 村上新聞

取組項目	避難指示等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の検証と改善
内 容	「避難情報に関するガイドライン」及び関川村地域防災計画との整合を図るため、水害対応タイムラインを修正
実施主体	新潟県村上地域振興局地域整備部

新潟県村上地域振興局地域整備部では、令和3年5月に改正された「避難情報に関するガイドライン」を踏まえつつ、関川村地域防災計画の非常配備基準等とも整合を図りながら、水害対応タイムラインの修正を行いました。

【実施概要】

- 河川名(水位観測局名)：荒川(鷹ノ巣水位観測局)



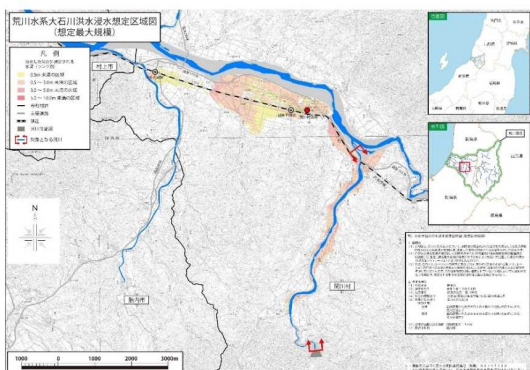
避難情報等に着目したタイムライン

取組項目	想定最大規模降雨に対する洪水浸水想定区域図の作成・公表
内 容	想定氾濫区域内戸数が200戸以上の河川では、浸水想定区域図を順次策定していく
実施主体	新潟県村上地域振興局地域整備部

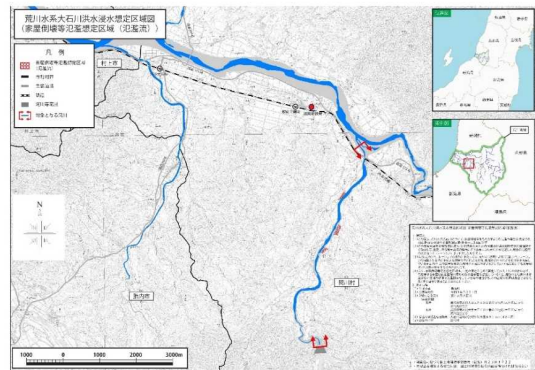
新潟県村上地域振興局地域整備部では、平成27年5月に改正された水防法に基づき、想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域図と合わせて、浸水継続時間や家屋倒壊等氾濫想定区域を順次設定し、公表を進めています。

【実施概要】

- 河川名(告示年月日)：荒川(平成30年6月29日)
- 乙大日川・烏川・堀川・大石川(令和3年12月24日)



洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)



取組項目	出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催
内 容	【R3.10.24】新潟県立村上中等教育学校で「親子マイ・タイムライン教室」を開催
実施主体	新潟県村上地域振興局地域整備部

新潟県村上地域振興局地域整備部では、主体的な避難行動により人命を守るため、中学生・高校生を対象として水防災教育の支援として、「マイ・タイムライン教室」の取組を進めています。

【実施概要】

- ・日 時：令和3年10月24日(日)9:00～11:30
- ・参加者：新潟県、村上市、新潟県立村上中等教育学校の1年生70名とその保護者
- ・内 容：生徒と保護者が一緒に自分が住む地域のハザードマップや避難行動などについて学び、グループワークによりマイ・タイムラインを仕上げる。



マイ・タイムライン教室の状況



グループワークによりマイ・タイムライン作成



グループ発表

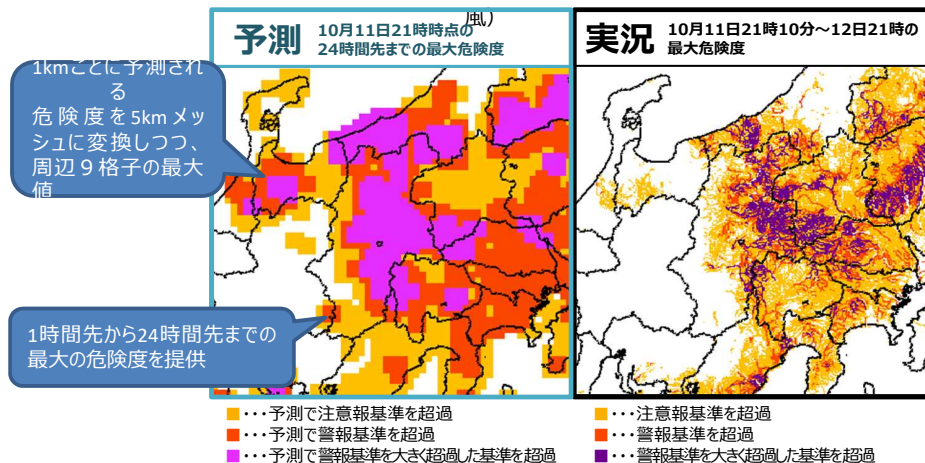
取組項目	①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組 ■情報伝達、避難計画等に関する事項 ⑧「危険度の色分け表示」や「警報級の可能性」、「危険度分布」等による気象情報発信
内 容	最大危険度予測(土砂災害・浸水害・洪水)を用いた警戒呼びかけ
実施主体	新潟地方気象台

**最大危険度予測(土砂災害・浸水害・洪水)を用いた警戒呼びかけ**

これまで気象情報等で今後の雨の見通しを「予想雨量」により伝えてきたが、あわせて1日程度先までの災害危険度の分布を示すことで、雨量だけでは伝えきれなかった災害イメージを持ってもらう。

・今年度は台風事例に限って情報提供を行い、土砂災害警戒情報の基準または洪水の「基準Ⅲ」(警報基準を大きく超過した基準)の超過を広い範囲で予測している場合に、記者会見、共同取材等で警戒を呼びかける。

実際の危険度と24時間前に予想した「1日先の危険度分布」との比較(令和元年東日本台)

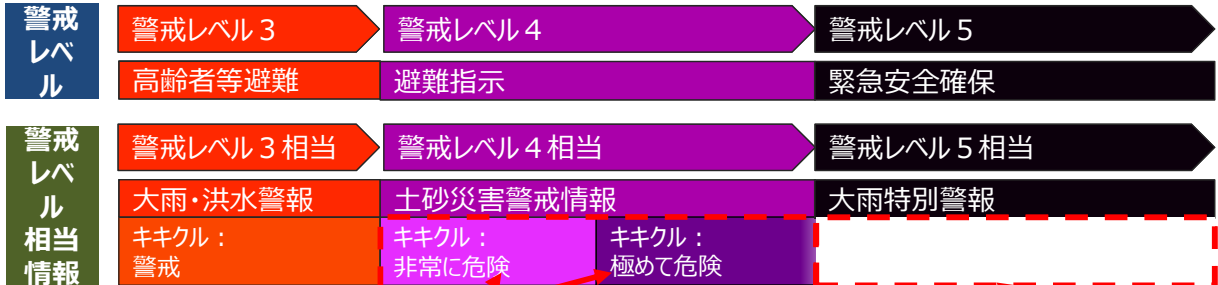


●引き続き、事例検証を重ね、自治体や報道機関の意見も踏まえながら、次年度以降も運用の改善を図っていく。

いずれも洪水予報河川の外水氾濫は対象としない。令和元年東日本台風(台風第19号)の事例を事後に検証したもの。

取組項目	①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組 ■情報伝達、避難計画等に関する事項 ⑧「危険度の色分け表示」や「警報級の可能性」、「危険度分布」等による気象情報発信
内容	キキクル(危険度分布)の改善:警戒レベル4相当の紫への一本化、警戒レベル5相当の黒の新設
実施主体	新潟地方気象台

- キキクル(危険度分布)の課題:令和3年5月に災害対策基本法が改正され、避難情報に変更となったが、
- ① 警戒レベルのカラーコードとキキクル(危険度分布)のカラーコードが一致していない。
  - ② 大雨特別警報は、市町村単位で発表されるが、市町村は警戒レベル5 緊急安全確保の発令対象区域の判断が困難。



①警戒レベルのカラーコードと一致していない。

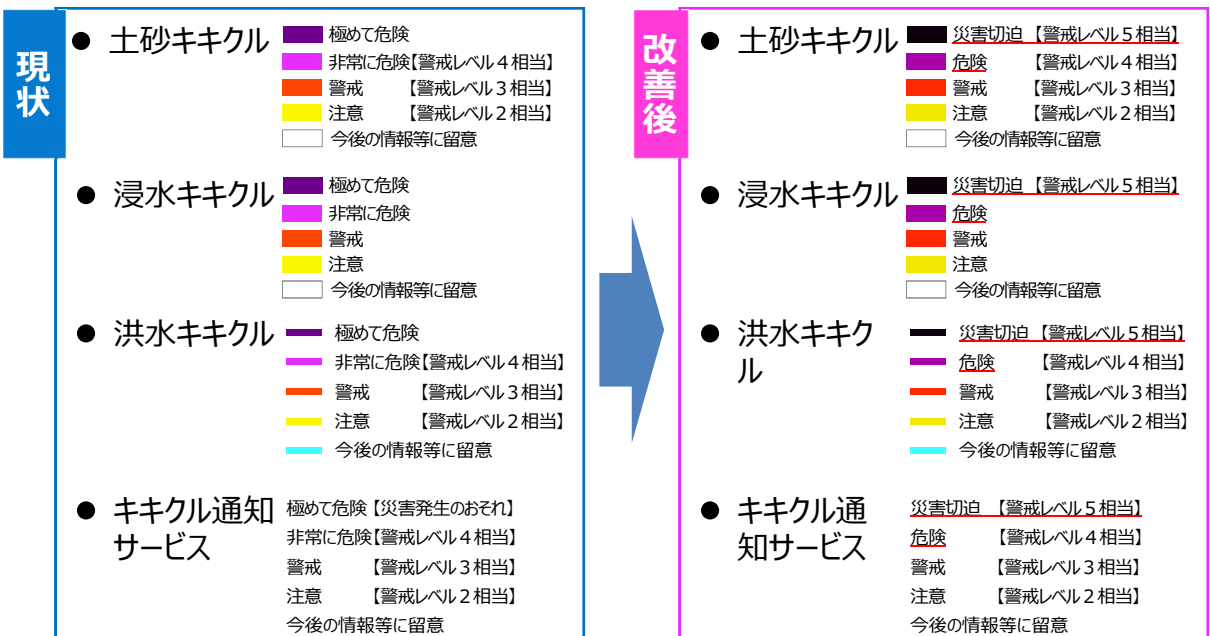
②キキクル「黒」が無く、市町村は警戒レベル5 緊急安全確保の発令対象区域の判断が困難。

※ 大雨特別警報(土砂災害)は、土砂キキクルの技術を活用した1kmメッシュ毎の基準値は設定済みだが、大雨特別警報(浸水害)については、まだキキクルの技術を活用した1kmメッシュ毎の基準値は未設定。

大雨・洪水警報の危険度分布について今後技術的な改善を進め、警戒レベル5に相当する危険度分布「黒」を新設するまでの間、危険度分布の「極めて危険(濃い紫)」を、大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5 緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みに活用する。(「避難情報に関するガイドライン」(内閣府))

## キキクル(危険度分布)の改善(案):令和4年度予定

- 大雨特別警報の基準値への到達を示す「災害切迫(仮)」(黒)を警戒レベル5相当として新設するとともに、これまでの「非常に危険(うす紫)」と「極めて危険(濃い紫)」を統合し、警戒レベル4相当の「危険(仮)」(紫)に一本化する。
- これにより、警戒レベルとの齟齬を解消し、警戒レベル相当情報としてより分かりやすく危険度を伝える。



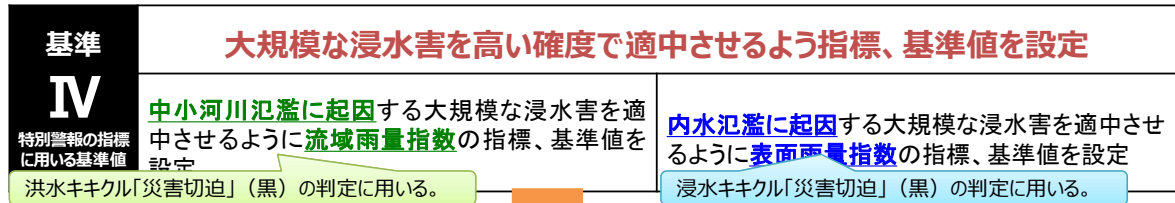
※ 指定河川洪水予報や特別警報・警報・注意報の扱いに変更はない。

# (参考) 新たな大雨特別警報（浸水害）の指標、基準値設定の考え方

## 大雨特別警報（浸水害）の基準値設定に用いる災害

「防災気象情報の伝え方に関する検討会」の令和元年度報告書（令和2年3月31日）において、  
 新たな基準値は「大規模な床上浸水等を引き起こす水害」を基に設定するとの方向性

「50年に一度の値」に代わる指標として検討



## 大雨特別警報（浸水害）の新たな指標（案）

**基準値以上となる1 km四方の格子が一定数以上まとまって出現する状況**

※ 新たな大雨特別警報（浸水害）の発表条件等の詳細は別途、ご連絡します。

⑩

取組項目	地域住民等に対する防災講話、防災説明会
内容	集落のニーズ、要望に応じて行う出前講座
実施主体	関川村総務政策課【防災】

村では集落等に対し要望、要請に基づく防災講話及び村自らの意思により防災説明会の開催を今年度より積極的に推進し地域住民の防災意識の高揚を図ることとしている。

### 【実施概要】

- ・実施回数：今年度5回開催  
 4月大島集落、5月高田集落、6月小見集落、10月朴坂集落、11月湯沢集落
- ・参加者：講師 総務政策課防災専門員、傍聴者（参加者） 自治会、地域住民、消防団員等
- ・内容：①洪水、土砂災害に関する防災情報、避難行動  
 ②荒川(大石川含む。)洪水ハザードマップ(令和3年5月改訂版)の見方・活用法



大島集落



高田集落



湯沢集落

取組項目	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布
内 容	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報活動
実施主体	荒川水力電気(株)

ダム放流による危害防止を図るため、警報内容について関川村広報誌へ掲載した。  
 (また、ダム周辺地元へ「岩船ダム放流についてのお願い」チラシを配布した)

**【実施概要】**

- ・掲載日時：令和3年6月15日(広報せきかわ:お知らせ版)
- ・内 容：① ダム洪水吐ゲートから放流する時は、放流開始する10分前にサイレンやスピーカーを鳴らしてお知らせします。
- ② 放送後は、川の水が増えてくるので川からあがって安全な場所へ避難するようお願いします。
- ③ その他、サイレン吹鳴のパターンを表示。

関川村広報誌への掲載状況

災害防止に備えて、岩船ダムでは放流を行います。降雨などで川の水が増えること予想された際、事前にダム洪水吐ゲートから放流を行い、大きな出水に備え、災害防止に努めています。

放流を開始する10分前に、サイレンやスピーカーを鳴らして、周辺の皆さまにお知らせします。放流後は川の水位が急速に増加しますので、すぐに川から離れて、安全な場所へ避難するようご協力をお願いします。

●警報内容 約2分間サイレンを吹鳴「1分吹鳴・10秒休止・1分吹鳴」

●問い合わせ  
荒川水力電気 関川事業所  
☎(64)2402

荒川水力電気株式会社から地域の皆様へ  
**岩船ダム放流についてのお願い**

サイレン内容  
吹鳴 60秒 休止 10秒 吹鳴 60秒

スピーカー放送内容  
吹鳴 「ビーポー、ビーポー、ビーポー」  
アナウンス 「こちらは、荒川水力電気株式会社 岩船ダムです。これから予定なく川の水が増えますので、危険です。川から上り、川から離れてください。」

連絡先  
荒川水力電気株式会社 関川事業所  
電話：0254-64-2402

ダム周辺地元への配布チラシ

取組項目	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布
内 容	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報活動
実施主体	赤芝水力発電株式会社

ダム放流における水難防止を目的に、放流警報に関わる内容を関川村広報誌へ掲載。

**【実施概要】**

- ・掲載日：令和3年7月1日(広報せきかわ お知らせ版)
- ・内 容：① ダムゲート放流開始前の警報について
- ② ゲート放流後の河川増水への備えについて
- ③ サイレンの吹鳴パターンについて

関川村広報誌への掲載

災害防止のために、赤芝ダムで放流を行います。降雨などで川の水が増えること予想されるため、事前にダムゲートから放流を行い、災害防止に努めています。

放流を開始する10分前に、サイレンやスピーカーなどで周辺の皆さまにお知らせします。放流後は川の水が増えるので、すぐに川から上り、川から離れてください。安全な場所に避難するようご協力をお願いします。

●警報内容 約2分間サイレンを吹鳴「1分吹鳴・休止・1分吹鳴」

●問い合わせ  
赤芝水力発電 赤芝発電所  
☎0238(6)42061

赤芝水力発電株式会社  
**お知らせ版**

2021年(令和3年)7月1日

取組項目	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布
内 容	【R3.7.14】水難防止のチラシおよびポスター配布
実施主体	東北電力株式会社

水難防止のPRのため、自治体、学校、漁業共同組合(釣券販売個所含む)、旅館・ホテル(温泉組合含む)に、チラシならびにポスターを配布した。

【実施概要】

- ・日 時 : 令和3年7月14日
- ・配布先 : ①関川村役場(回覧板, キャンプ場, 学校など) チラシ980枚 ポスター8枚  
 ②保育園 ポスター2枚  
 ③関川村下関駐在所 ポスター1枚  
 ④荒川漁業組合(釣券販売個所含む) チラシ250枚 ポスター5枚  
 ⑤旅館・ホテル(温泉組合含む)・コンビニ チラシ520枚 ポスター19枚



水難防止チラシ



水難防止ポスター

配布箇所	配布状況		
	チラシ	ポスター	
関川村役場	総務課 総務班	330	0
	農林観光課 商工観光班	250	4
	関川中学校	150	2
保育園	関川小学校	250	2
	下関保育園	0	1
	大島保育園	0	1
関川村下関駐在所		0	1
荒川漁業共同組合(釣券販売個所含む)	250	5	
旅館・ホテル(温泉組合含む)・コンビニ	520	19	
計	1,750	35	

チラシ・ポスター配布状況